

平成14年度第3回岡山市総合政策審議会

保健・福祉部会における主要な意見

- 1 日 時 平成14年 8月 8日(木)13:30～15:00
- 2 場 所 岡山市保健福祉会館 9階 大会議室
- 3 出席者 別紙委員名簿を参照(10名出席)
- 4 傍聴者 5人
- 5 会議の概要
児童クラブのあり方に関するパブリックコメントの結果報告をし、児童クラブを中心とした放課後児童健全育成事業のとりまとめについて、最終審議を行った。
- 6 主要な意見

指導員について、公募をしたり、任期を決め定期的に交代したりして、地域の多くの人に児童クラブに関わってもらえば、みんなでやろうという精神が育つと思う。

障害児の受け入れについて、重い軽いという言葉があると、言葉によってどのようにでも判断されて受入拒否の対象になってしまうので、言い方を考えてもらいたい。

指導員をボランティアという位置づけでするには限界がある。実態もボランティアとしての仕事ではなく、もっと専門性を持って関わる大事な仕事だと思う。

市民がボランティアの気持ちを持って働くことは非常に大事であり、それがまったくの無償でなく、有償でできるのは、良いことである。

延長保育、病児保育といって、子どもを親から引き離すような方向でなく、子どもが小さいときや病気の時にあまり残業をしなくていいような制度を進めて欲しい。

市で指導員の研修をもっとして欲しい。